

徳島経済レポート

No.424 2019. 10. 31

公益財団法人 徳島経済研究所

最近の県内景況

消費税率引き上げ前の駆け込み需要がみられるなど、
景気は緩やかに持ち直している

概況

最近の県内景況は、個人消費に消費税率引き上げ前の駆け込み需要がみられ、雇用情勢も堅調に推移するなど、景気は緩やかに持ち直している。

鉱工業生産(8月)をみると、季節調整済指数は91.1で前月に比べ9.3%低下、前年比(原指数)も10.8%低下した。季節調整済指数は、金属製品、繊維、プラスチック製品、電気機械が前月を上回った一方、ウェイトの大きい化学やパルプ・紙・紙加工品、はん用・生産用・業務用機械、食料品・飲料・飼料などが前月を下回った。

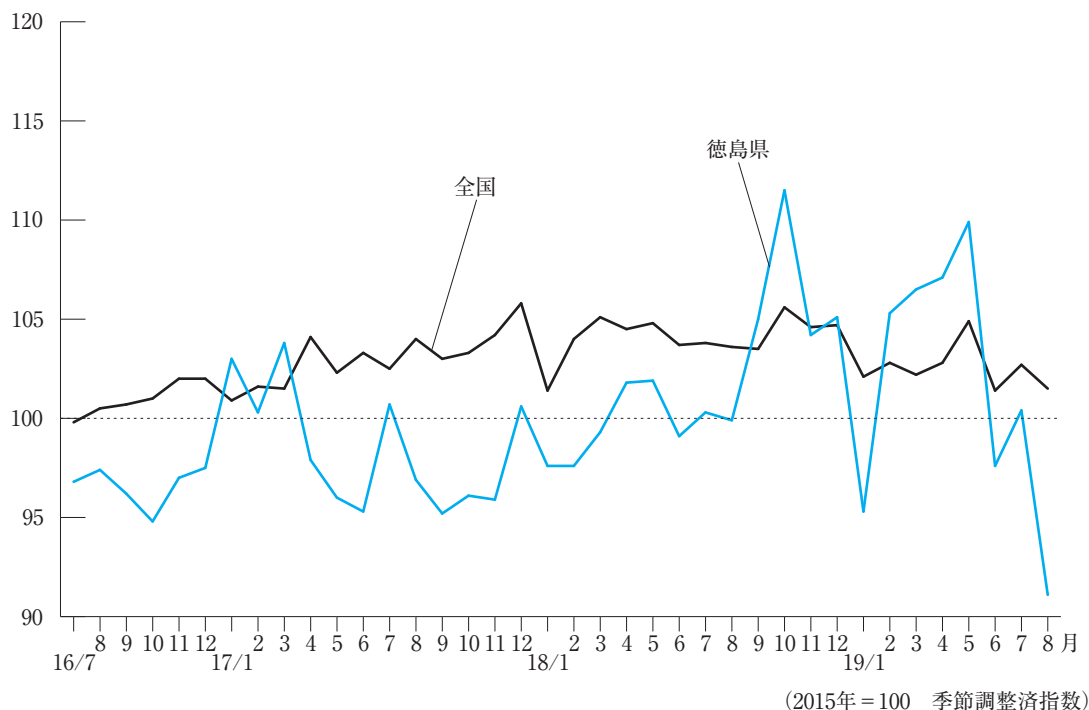
大型小売店・専門量販店販売額(9月)をみると、消費税率引き上げに伴う軽減税率制度の対象となる青果品、畜産品、惣菜などは大きな変化がなかったものの、引き上げ前の駆け込み需要がピークを迎え、宝飾などの高額品、スーツ、コートなどの衣料、家電製品全般、家具、寝具、ランドセル、アクセサリなどが好調であったほか、化粧品、ドラッグ、酒類、たばこなどのまとめ買いもみられたことから、全店ベースの売上げは前年を大幅に上回った。旅行需要(9月)は、国内、海外ともに前年割れとなり、全体の取扱高は前年をやや下回った。自動車販売(9月)は、登録車、軽自動車とも駆け込み需要がみられ、登録台数(含む軽)は3,057台で前年比23.1%増となった。

新設住宅着工戸数(8月)は、持家が前年比19.2%減、貸家が同52.9%減、分譲が同78.1%減となり、総戸数は同42.1%減の242戸となった。公共工事請負金額(9月)は、「県」が前年比27.7%増、「市町村」が同12.6%増、「独立行政法人等」が同39.5%増の一方、「国」が同55.7%減となり、全体でも同2.3%減の146億95百万円となった。

雇用関連指標をみると、有効求人倍率(9月、季節調整済)は、前月より0.04ポイント低下して1.48倍となったが、高水準を維持。現金給与総額指数(7月)は前年比6.3%上昇の一方、常用雇用指数は同2.3%低下、所定外労働時間指数(製造業)は同14.2%低下となった。

企業倒産(9月)は、件数5件、負債総額は5億35百万円であった。

鉱工業生産指数（徳島県、全国）



徳島県（8月）

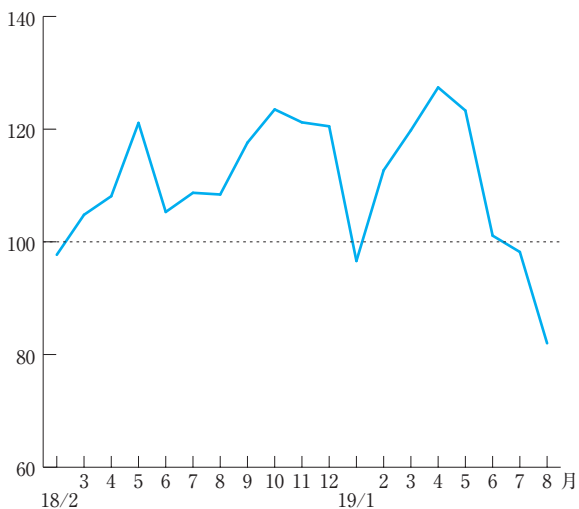
徳島県の8月（速報値）の鉱工業生産指数は、91.1（季節調整済）で前月比9.3%低下、原指数は88.7で前年比10.8%低下となった。

季節調整済指数の内訳を見ると、前月比で上昇したのは全15業種のうち4業種で、金属製品（29.2%増）、繊維（8.8%増）、プラスチック製品（6.0%増）、電気機械（2.1%増）。一方、低下した業種は、鉄鋼（31.5%減）、パルプ・紙・紙加工品（24.8%減）、はん用・生産用・業務用機械（22.7%減）、化学（16.5%減）、食料品・飲料・飼料（14.3%減）など。

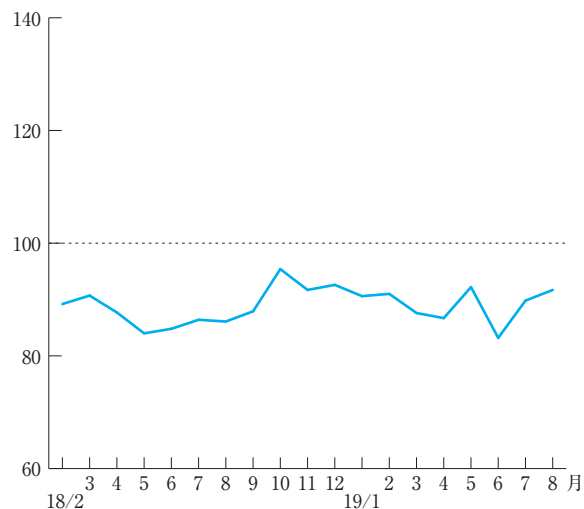
原指数の内訳をみると、前年比で上昇したのは全15業種のうち5業種で、金属製品（71.3%増）、繊維（16.0%増）、電気機械（4.0%増）、家具（3.2%増）など。一方、低下した業種は、輸送機械（49.3%減）、鉄鋼（29.0%減）、化学（24.7%減）、食料品・飲料・飼料（15.2%減）など。

業種別鉱工業生産指数 (カッコ内数字は、全体を10,000としたウエイト) (2015年=100 季節調整済指数)

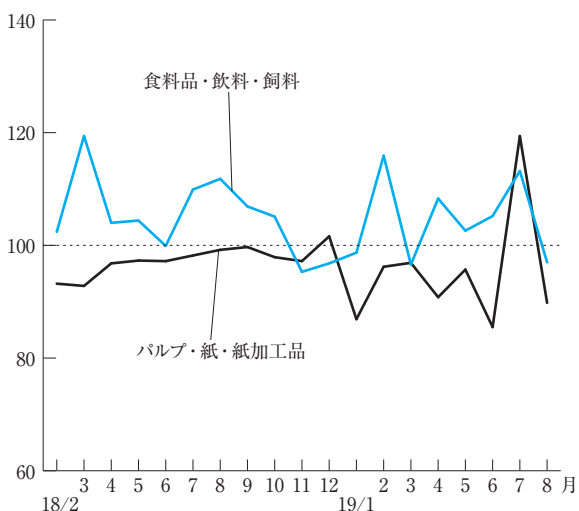
化学 (3,681.0)



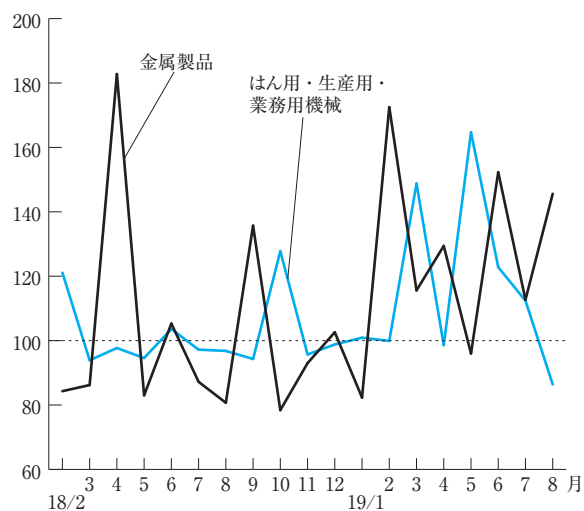
電気機械 (2,888.8)



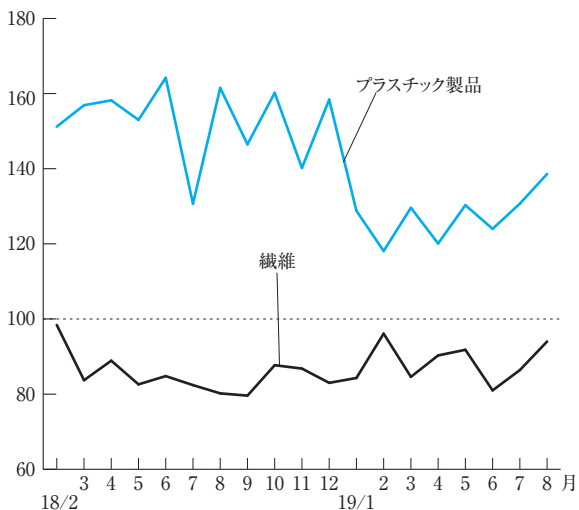
食料品・飲料・飼料 (703.4)
パルプ・紙・紙加工品 (516.2)



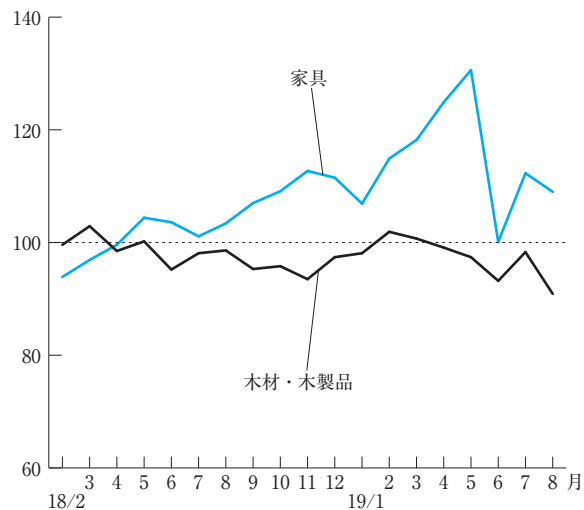
はん用・生産用・業務用機械 (558.7)
金属製品 (309.7)



プラスチック製品 (247.0)、繊維製品 (99.3)

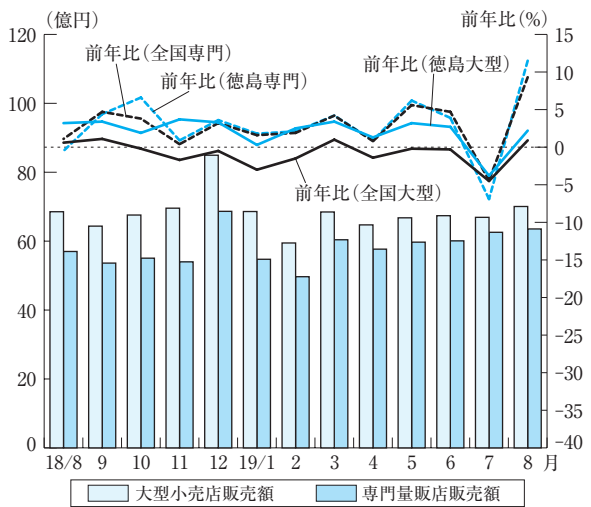


木材・木製品 (157.8)、家具 (134.9)



資料：徳島県統計データ課

大型小売店・専門量販店販売額



資料：四国経済産業局

どの白物家電が引き続き大幅増となるなど、売上げは前年を大幅に上回った。食料品は、消費税の軽減税率制度の対象となる青果品や畜産品、惣菜などに大きな動きがみられなかったものの、対象外となる酒類、たばこなどにまとめ買いの動きがみられ、売上げは前年をやや上回った。

なお、10月は駆け込み需要の反動がみられ、特に9月に大幅増となった高額品や化粧品などの身の回り品・雑貨や家電などの落ち込みが目立っている。

9月の小売商況は、消費税率引き上げ前の駆け込み需要がピークを迎え、宝飾などの高額品や家電製品、寝具などの売上げが大幅に伸びた。また化粧品やドラッグ、家庭用品、酒類などもまとめ買いで大幅増となるなど、全体の売上げは前年を大幅に上回った。

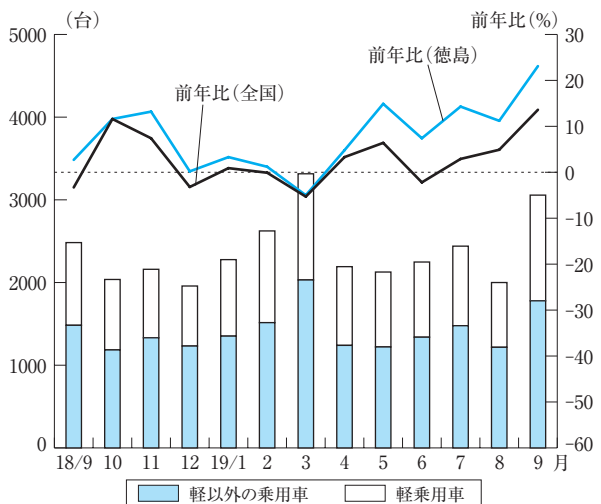
品目別の内訳をみると、衣料品は、駆け込み需要によりスーツやコート、ダウンジャケットなどの高額商品が好調に推移し、売上げは前年をやや上回った。身の回り品・雑貨は、宝飾、美術、呉服などの高額品や家具、寝具、さらにアクセサリやランドセルなどが好調に推移したほか、まとめ買いで化粧品やドラッグ、家庭用品なども大きく伸び、売上げは前年を大幅に上回った。家電についても、有機ELテレビやパソコンのほか、エアコンや洗濯機、冷蔵庫な

旅行業

9月の旅行需要は、国内旅行、海外旅行ともに前年割れとなり、個人旅行全体の取扱高は前年をやや下回って推移した。国内旅行はラグビーW杯観戦や東京ディズニーリゾートを含む関東方面のほか、九州や沖縄方面が堅調だったものの、比較的近場の関西や中国地方が低調だった。海外旅行は、ハワイやグアム、台湾、欧州方面などが堅調の反面、韓国や香港が引き続き低調に推移した。

10月以降の予約状況は、国内、海外旅行ともに前年を上回って推移している。特に海外旅行は日並びが良く長期休暇が取りやすい年末年始の予約が順調で、前年を大きく上回っている。国内旅行は東京ディズニーリゾートのある関東やU.S.Jが人気の関西に加え、九州や沖縄方面などが堅調である。一方の海外旅行は、ハワイやグアム、台湾、東南アジア、欧州方面などが人気となっている。

自動車販売

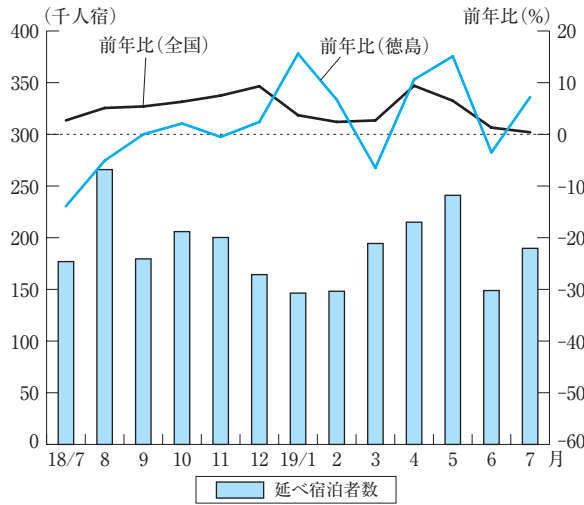


資料：自動車販売店協会・軽自動車協会

9月の自動車販売は、登録台数(含む軽)は前年比23.1%増の3,057台となった。

内訳をみると、普通車は1,006台で前年比22.7%増、中小型車(5ナンバー・1500cc超)は55台で同37.5%増、大衆車(1500cc以下)は718台で同15.2%増となり、登録車合計は1,779台で同20.0%増となった。また、軽自動車は1,278台で同27.8%増であった。

ホテル・旅館



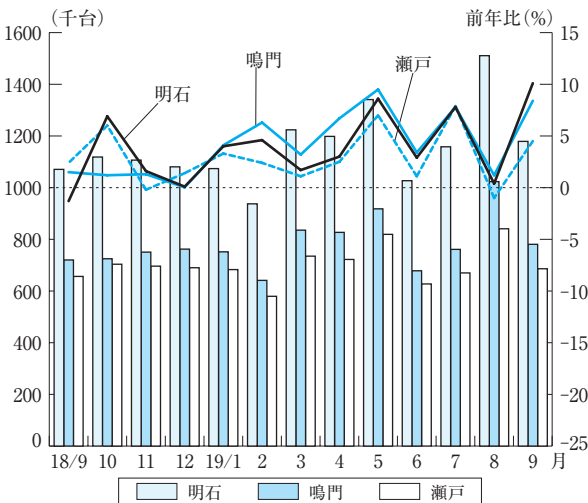
資料：国土交通省「宿泊旅行統計」(全宿泊施設)

9月の徳島市内の主要ホテル・旅館業をみると、宿泊部門ではビジネス客が堅調に推移したほか、コンベンションの需要もみられた。また、インバウンドは前年比増加傾向が続いていることも一因となり、全体の稼働率は前年を上回った。

宴会・飲食部門については、会議や会食など、中・小規模の需要が多かったものの、大規模宴会の件数は減少し、全体として前年をやや下回った。

(宿泊旅行統計【全宿泊施設】をみると、7月の徳島県の延べ宿泊者数(第2次速報)は190千人泊で、前年比7.2%増(全国平均は同0.4%増)。なお2019年1月～7月の徳島県延べ宿泊者数累計は1,283千人泊で、前年比6.2%増(全国平均は同3.7%増)となった。)

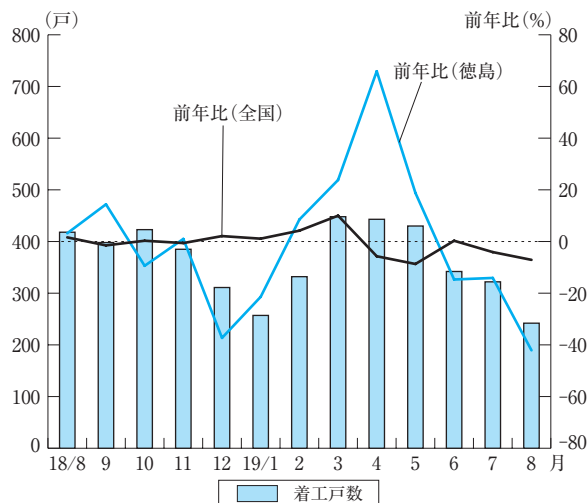
本州四国連絡道路交通量



資料：本州四国連絡高速道路

9月の本州四国連絡道路の交通量をみると、明石海峡大橋は前年比10.1%増、大鳴門橋は同8.4%増、瀬戸大橋は同4.5%増となった。(2019年4月～2019年9月の交通量累計は、明石海峡大橋、大鳴門橋、瀬戸大橋の順に、前年比5.2%増、同6.0%増、同3.5%増)

住宅投資

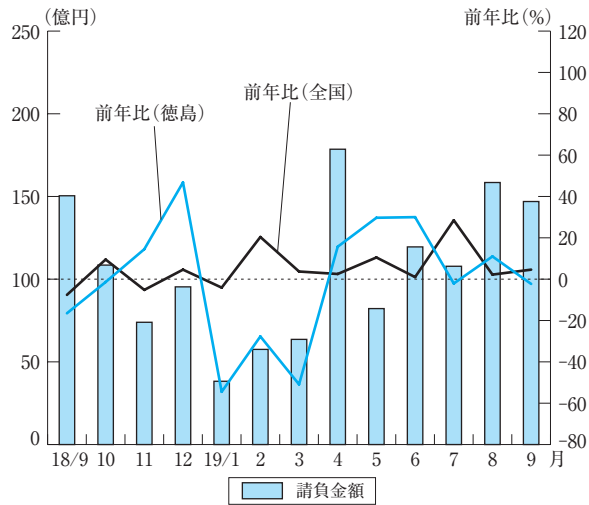


資料：国土交通省

8月の新設住宅着工戸数をみると、総戸数は前年比42.1%減の242戸となった。

利用関係別では、持家は前年比19.2%減の147戸、貸家は同52.9%減の81戸、分譲は同78.1%減の14戸であった。総床面積は23,517㎡で、同37.4%減少した。

公共工事

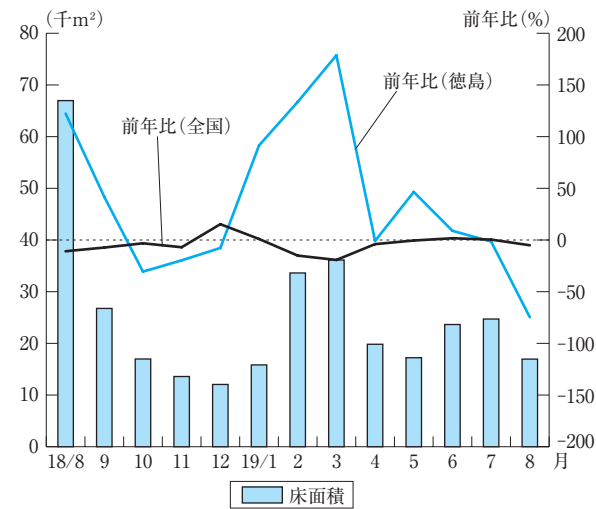


資料：西日本建設業保証(株)

9月の公共工事（西日本建設業保証徳島支店調べ）をみると、請負件数は、前年比0.6%減の460件、請負金額は同2.3%減の146億95百万円となった。

発注者別にみると、「県」は72億8百万円で前年比27.7%増、「市町村」は34億91百万円で同12.6%増、「国」は22億87百万円で同55.7%減、「独立行政法人等」が15億27百万円で同39.5%増となった。

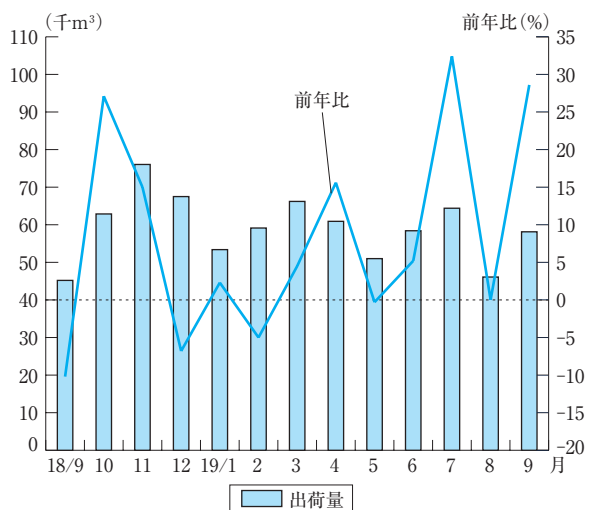
非居住用建築着工床面積



資料：国土交通省

8月の非居住用建築着工床面積(店舗、工場等)は、前年比74.7%減の16,955㎡で、工事費予定額は同81.7%減の30億16百万円となった。

生コン出荷量



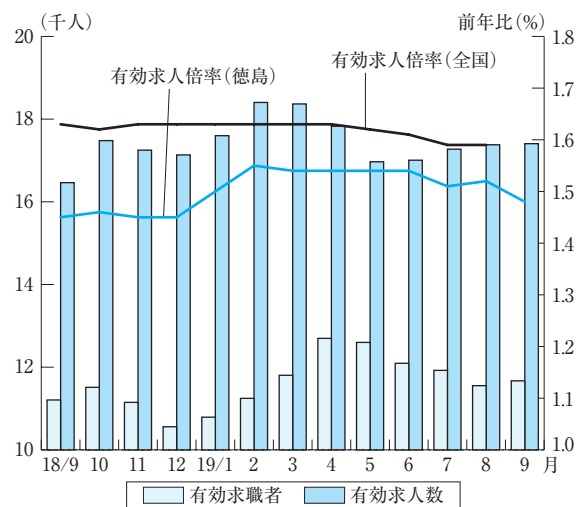
資料：徳島県生コンクリート工業組合

9月の生コン出荷量（徳島県生コンクリート工業組合出荷速報）は58千立方メートル、前年比28.6%増となった。

民需は20千立方メートルで前年比6.2%増、官公需は39千立方メートルで同44.0%増となっている。

(2019年4月～9月の出荷量累計は前年比13.3%増)

雇用関連 (求人)



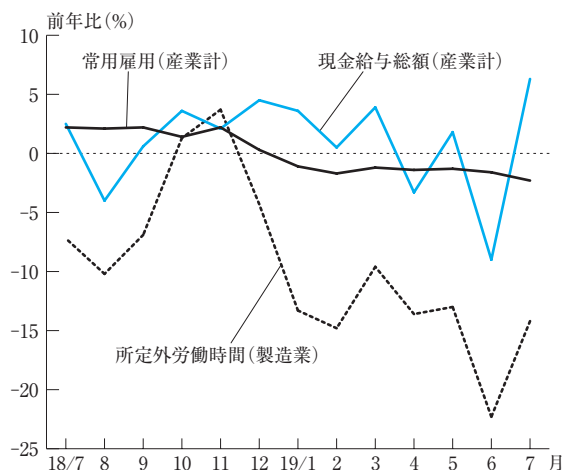
資料：徳島労働局

9月の有効求人倍率(季節調整値)は、1.48倍で前月比0.04ポイント低下。原数値は、1.49倍で前年比0.02ポイント上昇。有効求職者数は11,670人で前年比4.1%増加、有効求人数は17,406人で同5.7%増加。

新規求人数(一般。パートを除く)は、3,442人で前年比0.2%増加した。パートの新規求人は、同6.8%増加の2,400人であった。

内訳をみると、宿泊業・飲食サービス業、製造業、サービス業等が減少したものの、医療・福祉、卸売業・小売業、建設業等で増加した。

雇用関連 (勤労統計)

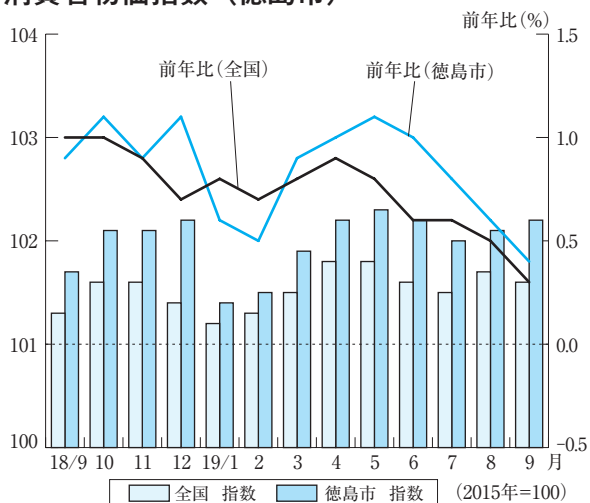


資料：徳島県統計データ課

7月の毎月勤労統計(5人以上の事業所)によれば、常用雇用指数(産業計)は100.7で前年比2.3%低下、現金給与総額指数(産業計)は126.9で同6.3%上昇、所定外労働時間指数(製造業)は81.8で同14.2%低下となった。

(指数：2015年=100)

消費者物価指数 (徳島市)



※「生鮮食品を除く総合」の数値をグラフ化

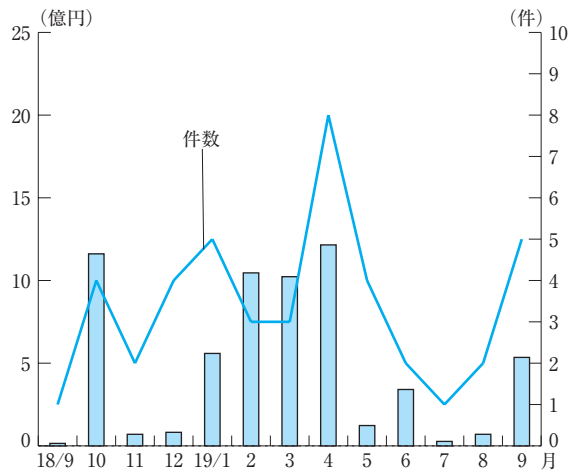
資料：総務省

9月の消費者物価指数は、102.5で前年比0.3%上昇(前月比0.2%上昇)、生鮮食品を除く総合は102.2で前年比0.4%上昇(前月比0.1%上昇)であった。

費目別にみると、前年比低下した費目は、被服及び履物(△1.2%)、交通・通信(△0.9%)、教養娯楽(△0.3%)。一方、上昇した費目は、家具・家事用品(5.2%)、保健医療(1.1%)、教育(0.8%)などでの伸びが目立っている。

(指数：2015年=100)

企業倒産

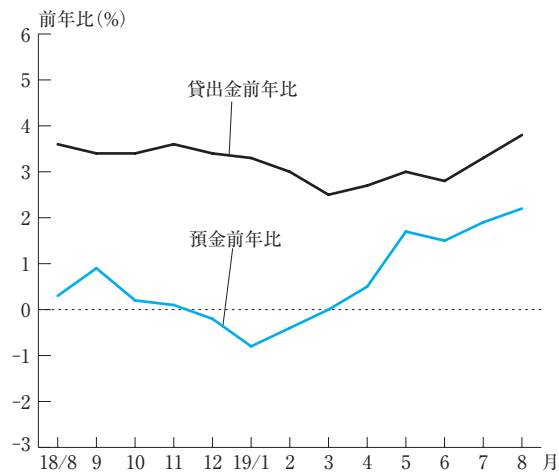


資料：東京商工リサーチ

9月の企業倒産（東京商工リサーチ調べ、負債総額1千万円以上）をみると、5件で負債総額は5億35百万円であった。業種別では、サービス業他が2件、製造業、小売業、運輸業が各1件だった。

帝国データバンクの調査（負債総額1千万円以上、法的整理による倒産）では、5件で負債総額は6億12百万円であった。

金融

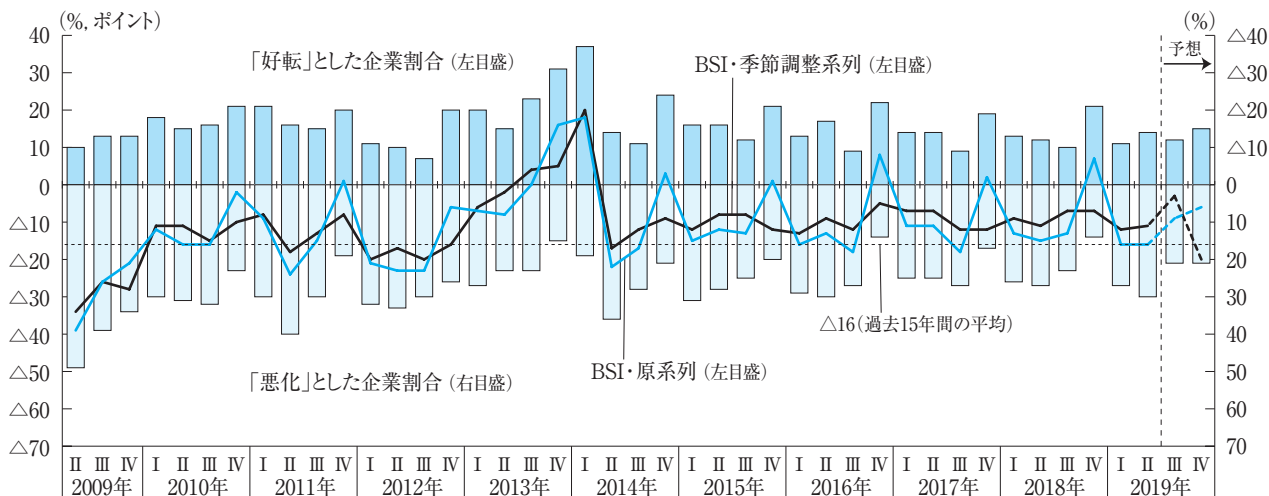


資料：日本銀行

8月の民間金融機関貸出残高は、日本銀行徳島事務所によると、全体では前年比3.8%増となり、50ヵ月連続で前年を上回った。この間、貸出約定平均金利は、前月比低下した（7月末1.282%→8月末1.279%、国内銀行ベース）。

預金については、前年比2.2%増となり、5ヵ月連続で前年を上回った。

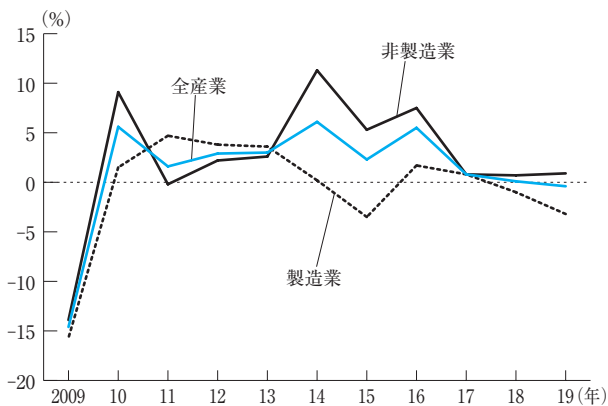
業況判断 B S I (徳島経済研究所調査)



2019年4～6月期(前期→当期:△12→△11)の業況判断(季節調整値)はほぼ横ばいとなった。前回調査時の予想(△11)と同じであった。過去(2004年7～9月期から2019年4～6月期の15年間)の業況判断BSIの平均△16と比べると、上回って推移している。

なお、売上げBSI(同:△7→7)、収益BSI(同:△10→4)はともに改善した。(詳細は2019年8月の「第138回企業経営動向調査」参照)

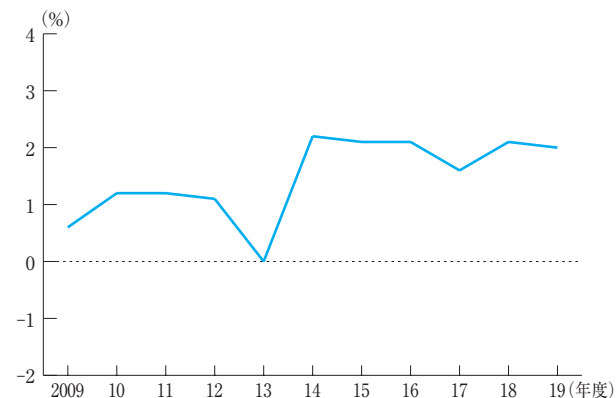
ボーナス支給動向(同)



県内民間企業の2019年夏季ボーナス支給に関するアンケート調査によれば、平均ボーナス支給額は383,500円で、前年同期の385,000円に比べ支給額は△1,500円、増減率では△0.4%(前年同調査+0.1%)と10年ぶりのマイナスとなった。非製造業の支給額が前年同期比+0.9%と8年連続のプラスとなった一方、製造業が同△3.2%と2年連続のマイナスとなった。

(詳細は2019年8月の「経済トピックス No.132」参照)

賃上げ動向(同)



県内民間企業の賃上げ動向に関するアンケート調査によると、2019年度の全産業の賃上げ額は+5,500円(前年同調査+5,800円)、賃上げ率は+2.0%(同+2.1%)となり、2年連続で賃上げ率+2.0%以上の高い伸びとなった。賃上げ率は2014年以降、2017年を除き2.0%以上の高い水準で推移している。

(詳細は2019年8月の「経済トピックス No.132」参照)

摘要 年月	徳島県鋳工業生産指数 2015年=100													
	鋳工業総合		金属製品		はん用・生産用・業務用機械		電気機械		化学		プラスチック製品		パルプ・紙・紙加工品	
	10,000	前年比 %	wt.309.7	前年比 %	wt.558.7	前年比 %	wt.2888.8	前年比 %	wt.3681.0	前年比 %	wt.247.0	前年比 %	wt.516.2	前年比 %
2014年	97.3	1.9	97.8	△ 7.0	110.0	2.6	102.3	17.2	87.6	△ 8.3	109.8	2.6	99.9	△ 1.4
2015年	100.0	2.8	100.0	2.2	100.0	△ 9.1	100.0	△ 2.2	100.0	14.2	100.0	△ 8.9	100.0	0.1
2016年	97.8	△ 2.2	105.1	5.1	88.9	△ 11.1	96.4	△ 3.6	97.0	△ 3.0	111.3	11.3	95.7	△ 4.3
2017年	98.4	0.6	88.4	△ 15.9	96.7	8.8	94.4	△ 2.1	101.9	5.1	121.0	8.7	94.3	△ 1.5
2018年	102.0	3.7	100.7	13.9	101.8	5.3	88.8	△ 5.9	111.2	9.1	151.9	25.5	97.1	3.0
2018.6	99.1	1.6	105.3	55.0	103.6	10.0	84.8	△ 10.1	105.3	4.4	164.2	48.0	97.2	1.8
7	100.3	△ 0.2	87.2	△ 36.5	97.2	19.1	86.4	△ 4.1	108.7	0.7	130.7	△ 2.1	98.2	△ 4.3
8	99.9	2.8	80.7	8.3	96.8	△ 6.7	86.1	△ 6.1	108.4	6.9	161.5	27.1	99.2	1.5
9	105.0	7.6	135.7	45.8	94.3	△ 2.8	87.9	△ 6.9	117.6	21.2	146.5	14.4	99.7	6.8
10	111.5	17.4	78.4	△ 17.7	127.8	46.3	95.4	9.8	123.5	28.8	160.2	22.5	97.9	3.7
11	104.2	9.0	93.0	6.7	95.7	2.3	91.7	3.1	121.2	24.5	140.2	△ 4.4	97.2	1.9
12	105.1	4.8	102.6	20.7	98.8	△ 9.5	92.6	4.9	120.5	11.5	158.4	35.1	101.6	11.3
2019.1	95.3	△ 2.3	82.3	△ 12.4	100.9	0.1	90.6	1.5	96.6	△ 2.5	128.8	△ 13.5	86.9	△ 9.9
2	105.3	7.9	172.5	104.6	99.9	△ 17.4	91.0	2.0	112.7	15.3	118.1	△ 21.9	96.2	3.3
3	106.5	5.8	115.6	36.8	148.8	52.5	87.6	△ 5.7	119.8	13.7	129.6	△ 15.9	96.9	2.5
4	107.1	5.6	129.4	△ 35.4	98.6	4.6	86.7	1.3	127.4	18.7	120.1	△ 23.1	90.8	△ 3.4
5	109.9	5.9	96.0	0.1	164.7	73.1	92.2	9.7	123.3	2.1	130.3	△ 9.6	95.7	0.6
6	97.6	△ 2.8	152.3	47.5	122.8	14.0	83.2	△ 4.3	101.1	△ 4.6	124.0	△ 23.2	85.5	△ 13.6
7	100.4	1.4	112.7	26.8	112.4	20.2	89.8	6.5	98.2	△ 9.1	130.7	△ 1.8	119.4	23.7
8	91.1	△ 10.8	145.6	71.3	86.9	△ 13.9	91.7	4.0	82.0	△ 24.7	138.6	△ 10.0	89.8	△ 10.1
9														
資料出所	徳島県統計データ課													

(注) 鋳工業生産指数は季節調整済。前年比は原指数比較。年度は原指数。

摘要 年月	徳島県鋳工業生産指数						百貨店・スーパー販売額		専門量販店				コンビニエンスストア
	繊維		食料品・飲料・飼料		木材・木製品		販売額		家電大型	ドラッグストア	ホームセンター		
	wt.99.3	前年比 %	wt.703.4	前年比 %	wt.157.8	前年比 %	百万円	前年比 %	前年比 %	前年比 %	前年比 %	前年比 %	前年比 %
2014年	95.1	3.9	109.1	9.2	101.2	0.2	72,748	6.4	—	—	—	—	—
2015年	100.0	5.2	100.0	△ 8.3	100.0	△ 1.2	74,793	2.8	△ 7.5	5.3	△ 1.4	—	—
2016年	102.0	2.0	103.8	3.8	103.8	3.8	74,736	△ 0.1	△ 2.9	3.8	△ 0.4	—	—
2017年	96.6	△ 5.3	101.6	△ 2.1	105.7	1.8	78,147	4.6	△ 2.5	3.9	△ 0.6	—	—
2018年	86.5	△ 10.5	105.0	3.3	98.2	△ 7.1	81,139	3.8	△ 0.8	4.4	4.2	—	—
2018.6	84.8	△ 12.4	99.9	△ 5.9	95.2	△ 13.4	6,564	4.0	9.5	5.0	4.9	△ 0.8	—
7	82.4	△ 22.3	109.9	13.9	98.1	△ 6.0	6,953	4.4	△ 1.7	5.1	6.6	△ 0.4	—
8	80.2	△ 17.8	111.8	9.5	98.6	△ 8.3	6,854	3.2	△ 9.2	4.3	△ 0.2	△ 0.6	—
9	79.6	△ 20.4	106.9	2.5	95.3	△ 13.8	6,436	3.4	5.7	3.3	5.5	4.2	—
10	87.7	△ 12.9	105.1	16.0	95.8	△ 7.9	6,758	1.9	1.4	5.6	13.9	△ 1.0	—
11	86.8	△ 12.1	95.3	△ 9.9	93.5	△ 10.0	6,957	3.7	△ 3.6	2.7	2.1	0.7	—
12	83.0	△ 17.6	96.8	△ 16.4	97.4	△ 7.2	8,494	3.3	1.2	6.1	2.1	1.7	—
2019.1	84.3	△ 11.8	98.7	△ 5.2	98.1	△ 4.6	6,860	0.3	△ 4.1	5.7	1.1	2.0	—
2	96.1	1.2	115.9	13.1	101.9	2.2	5,947	2.5	△ 4.5	5.8	1.7	2.6	—
3	84.6	△ 5.7	96.6	△ 20.4	100.7	△ 3.4	6,847	3.4	1.2	7.5	1.3	0.4	—
4	90.3	1.4	108.3	5.2	99.1	1.0	6,472	1.3	△ 2.3	6.0	△ 5.5	2.4	—
5	91.8	9.8	102.6	△ 3.0	97.4	△ 4.6	6,677	3.2	6.9	7.5	3.2	2.9	—
6	81.0	△ 4.9	105.2	3.6	93.2	△ 3.4	6,739	2.7	1.2	7.8	△ 1.3	1.8	—
7	86.4	5.3	113.2	4.7	98.3	1.5	6,691	△ 3.8	△ 18.2	1.8	△ 7.7	△ 2.6	—
8	94.0	16.0	97.0	△ 15.2	90.9	△ 9.8	7,006	2.2	24.8	7.1	6.4	0.3	—
9													—
資料出所	徳島県統計データ課						四国経済産業局						

摘要 年月	新車登録車数		新車届出車数		新設住宅着工				公共工事保証請負			
	乗用車 台	前年比 %	軽乗用車 台	前年比 %	総数		持家	貸家	総面積 m ²	件数 件	金額 百万円	前年比 %
					総戸数 戸	前年比 %	前年比 %	前年比 %				
	台	%	台	%	戸	%	%	%	m ²	件	百万円	%
2014年	15,866	△ 0.3	14,763	9.3	4,023	△ 10.9	△ 24.0	6.9	385,165	4,002	126,665	△ 11.0
2015年	14,802	△ 6.7	11,408	△ 22.7	3,802	△ 5.5	△ 0.1	△ 12.4	369,116	3,797	117,601	△ 7.2
2016年	15,481	4.6	10,102	△ 11.4	4,506	18.5	7.9	32.4	413,560	3,606	126,296	7.4
2017年	16,292	5.2	10,492	3.9	4,859	7.8	△ 1.8	15.9	427,925	3,551	121,862	△ 3.5
2018年	15,982	△ 1.9	10,914	4.0	4,335	△ 10.8	△ 3.9	△ 17.8	393,645	3,880	115,008	△ 5.6
2018.6	1,215	△ 16.1	878	△ 2.9	401	△ 9.9	△ 6.3	△ 12.8	33,798	304	9,193	△ 20.2
7	1,248	△ 5.1	887	7.5	375	△ 20.0	△ 13.8	△ 25.7	31,159	389	11,007	29.5
8	1,075	2.3	724	4.5	418	3.2	△ 5.7	△ 13.1	37,567	419	14,270	60.8
9	1,483	2.5	1,000	3.0	398	14.4	7.3	54.9	35,463	463	15,043	△ 16.5
10	1,185	11.0	852	12.4	423	△ 9.4	23.7	△ 40.9	40,364	381	10,851	△ 1.4
11	1,332	11.9	828	15.3	385	1.0	1.6	△ 6.6	34,566	351	7,393	14.5
12	1,232	5.5	726	△ 7.8	311	△ 37.3	△ 6.0	△ 57.8	27,499	362	9,535	46.8
2019.1	1,352	1.7	925	5.6	257	△ 21.4	6.5	△ 54.4	25,680	221	3,826	△ 54.5
2	1,515	△ 1.2	1,109	4.6	332	8.5	2.4	7.6	29,846	288	5,753	△ 27.7
3	2,031	△ 5.8	1,284	△ 3.7	448	23.8	5.0	53.4	35,882	183	6,359	△ 50.9
4	1,240	9.3	952	△ 0.5	443	65.9	37.5	15.7	44,553	443	17,857	15.7
5	1,221	15.3	906	14.4	430	18.8	1.1	38.8	32,776	214	8,221	29.7
6	1,339	10.2	909	3.5	342	△ 14.7	26.1	△ 49.1	32,773	274	11,951	30.0
7	1,478	18.4	962	8.5	322	△ 14.1	38.0	△ 56.4	32,035	394	10,780	△ 2.1
8	1,217	13.2	783	8.1	242	△ 42.1	△ 19.2	△ 52.9	23,517	361	15,844	11.0
9	1,779	20.0	1,278	27.8						460	14,695	△ 2.3
資料出所	自動車販売店協会		軽自動車協会		国土交通省				西日本建設保証(株)			

(注) 公共工事保証請負金額は年度。

摘要 年月	消費者物価指数 (総合、徳島市)		家計消費支出(勤労者) (徳島市)		雇用市場						常用雇用指数 (産業計)	
	生鮮食品を 除く総合	前年比 %	消費支出 円	前年比 %	有効求職者数		有効求人数		有効求人倍率		2015年 =100	前年比 %
					人	前年比 %	人	前年比 %	倍	ポイント		
	2015年=100	%	円	%	人	%	人	%	倍	ポイント	=100	%
2014年	99.3	2.9	351,696	10.6	13,462	△ 7.5	14,652	△ 1.5	1.09	0.07	98.9	0.7
2015年	100.0	0.7	309,604	△ 12.0	12,255	△ 9.0	14,815	1.1	1.21	0.12	100.0	1.1
2016年	100.0	0.0	318,041	2.7	12,033	△ 1.8	16,257	9.7	1.35	0.14	101.0	0.9
2017年	100.5	0.5	296,288	△ 6.8	11,819	△ 1.8	16,634	2.3	1.41	0.06	100.8	△ 0.2
2018年	101.4	1.0	332,595	12.3	11,531	△ 2.4	17,037	2.4	1.48	0.07	102.7	1.9
2018.6	101.2	0.8	297,672	25.0	11,951	△ 2.5	16,174	4.8	1.47	0.09	103.3	2.3
7	101.2	0.8	316,724	21.9	11,549	△ 2.9	16,239	4.7	1.48	0.11	103.1	2.2
8	101.5	0.9	407,618	47.2	11,430	△ 3.2	16,404	1.0	1.46	0.07	102.7	2.1
9	101.7	0.9	353,234	33.1	11,207	△ 5.9	16,463	△ 3.4	1.45	0.04	102.7	2.2
10	102.1	1.1	357,558	11.9	11,513	△ 2.2	17,480	1.3	1.46	0.05	102.6	1.3
11	102.1	0.9	306,039	9.3	11,149	△ 1.3	17,249	△ 0.5	1.45	0.01	102.9	2.2
12	102.2	1.1	310,823	△ 16.5	10,559	△ 0.3	17,134	0.8	1.45	0.02	100.8	0.3
2019.1	101.4	0.6	327,814	△ 12.6	10,791	△ 2.0	17,599	3.4	1.50	0.08	101.6	△ 1.1
2	101.5	0.5	255,677	△ 26.5	11,246	△ 3.0	18,403	6.1	1.55	0.14	101.2	△ 1.7
3	101.9	0.9	341,862	0.8	11,804	△ 2.0	18,367	4.9	1.54	0.11	101.2	△ 1.2
4	102.2	1.0	359,374	18.7	12,697	△ 0.2	17,828	5.8	1.54	0.08	101.7	△ 1.4
5	102.3	1.1	341,548	23.6	12,599	1.2	16,968	5.5	1.54	0.06	101.7	△ 1.3
6	102.2	1.0	334,880	12.5	12,095	1.2	17,006	5.1	1.54	0.06	101.6	△ 1.6
7	102.0	0.8	378,542	19.5	11,923	3.2	17,273	6.4	1.51	0.04	100.7	△ 2.3
8	102.1	0.6	305,535	△ 25.0	11,553	1.1	17,379	5.9	1.52	0.06		
9	102.2	0.4			11,670	4.1	17,406	5.7	1.48	0.02		
資料出所	総務省				徳島労働局職業安定課						徳島県統計データ課	

(注) 家計消費支出は、二人以上の世帯のうち勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の一世帯あたり平均。

(注) 有効求職者数、有効求人数、有効求人倍率は年度平均。

(注) 有効求人倍率は季節調整値、同前年比は原指数による。

(注) 常用雇用は、5人以上の事業所。

摘要 年月	所定外労働時間指数 (製造業)		現金給与総額指数 (産業計)		延べ宿泊者数 (全宿泊施設)		本州四国連絡 道路交通量		金融関連		
	2015年 =100	前年比 %	2015年 =100	前年比 %	千人泊	前年比 %	大鳴門橋	前年比 %	実質預金 前年比 %	貸出金 前年比 %	貸出約定 平均金利 年利%
2014年	101.4	13.7	99.8	0.7	2,869.2	27.1	8,624	△ 0.7	2.4	1.1	1.803
2015年	100.0	△ 1.3	100.0	0.2	2,314.9	△ 19.3	8,945	3.7	1.4	2.4	1.697
2016年	99.0	△ 1.0	100.2	0.2	2,383.1	2.9	9,059	1.3	0.8	1.1	1.590
2017年	105.5	6.6	98.9	△ 1.3	2,298.2	△ 3.6	9,119	0.7	3.1	4.2	1.455
2018年	103.0	△ 2.4	100.1	1.2	2,205.9	△ 3.2	9,173	0.6	△ 0.2	3.4	1.344
2018.6	106.1	3.3	134.9	1.4	154.4	△ 13.2	656	△ 0.7	1.2	3.9	1.385
7	95.3	△ 7.2	119.4	2.5	176.9	△ 13.9	706	△ 7.7	0.4	3.7	1.379
8	95.9	△ 10.2	84.9	△ 4.0	265.9	△ 5.1	1,011	△ 0.8	0.3	3.6	1.372
9	100.0	△ 6.9	83.5	0.6	179.5	△ 0.0	720	1.5	0.9	3.4	1.368
10	104.1	1.4	84.5	3.6	205.9	2.1	725	1.2	0.2	3.4	1.364
11	110.8	3.7	86.7	2.1	200.2	△ 0.5	751	1.3	0.1	3.6	1.359
12	107.4	△ 4.3	185.2	4.5	164.3	2.4	762	0.0	△ 0.2	3.4	1.344
2019.1	83.8	△ 13.3	85.5	3.6	146.4	15.6	752	4.1	△ 0.8	3.3	1.341
2	89.2	△ 14.8	82.9	0.5	148.2	6.7	641	6.3	△ 0.4	3.0	1.336
3	96.6	△ 9.6	88.9	3.9	194.4	△ 6.5	836	3.2	0.0	2.5	1.322
4	94.6	△ 13.6	84.4	△ 3.3	215.0	10.6	827	6.7	0.5	2.7	1.310
5	85.8	△ 13.0	85.5	1.8	241.0	15.1	918	9.5	1.7	3.0	1.303
6	82.4	△ 22.3	122.7	△ 9.0	148.9	△ 3.5	678	3.4	1.5	2.8	1.292
7	81.8	△ 14.2	126.9	6.3	189.7	7.2	761	7.8	1.9	3.3	1.282
8							1,023	1.2	2.2	3.8	1.279
9							781	8.4			
資料出所	徳島県統計データ課				国土交通省		本州四国連絡高速道路		日本銀行		

(注) 所定外労働時間、現金給与総額は、5人以上の事業所。
 (注) 延べ宿泊者数は、2018.12までは確定値、2019.1以降は第2次速報値。
 (注) 本州四国連絡道路交通量は年度。
 (注) 実質預金(資金化していない手形、小切手等を差引いたもの)・貸出残高は、国内銀行(ゆうちょ銀行除く)・信金ベース。
 (注) 実質預金、貸出残高及び貸出約定平均金利は、年・月末。
 (注) 貸出約定平均金利は、国内銀行(ゆうちょ銀行除く)の県内店舗における貸出金利を貸出金残高(末残)で加重平均したもの。

摘要 年月	手形交換状況						企業倒産			信用保証協会代位弁済		
	手形交換高			不渡手形			件数	金額	前年比	件数	金額	前年比
	枚数	金額	前年比	枚数	金額	前年比						
	千枚	百万円	%	枚	百万円	%	件	百万円	%	件	百万円	%
2014年	383	412,182	△ 16.3	314	271	△ 67.4	42	4,797	△ 28.2	262	1,910	△ 25.4
2015年	356	368,609	△ 10.6	178	156	△ 42.5	45	11,109	131.6	195	1,751	△ 8.3
2016年	333	342,429	△ 7.1	163	92	△ 41.0	32	4,972	△ 55.2	212	1,685	△ 3.8
2017年	307	309,479	△ 9.6	193	143	56.0	34	5,789	16.4	231	2,293	36.1
2018年	281	287,748	△ 7.0	129	120	△ 16.2	33	4,491	△ 22.4	185	1,493	△ 34.9
2018.6	19	18,575	△ 29.0	3	1	△ 78.8	1	65	△ 51.9	12	205	25.9
7	28	30,492	17.3	2	1	△ 93.5	2	255	155.0	8	42	△ 41.6
8	23	23,725	△ 11.2	22	13	7.9	1	100	△ 85.0	21	147	△ 53.6
9	17	16,441	△ 10.9	8	10	△ 4.4	1	15	△ 98.5	16	181	△ 18.1
10	27	28,078	△ 7.3	31	16	△ 51.3	4	1,161	151.8	10	39	△ 90.8
11	23	21,501	△ 7.1	21	19	△ 44.9	2	70	△ 83.7	14	42	△ 73.0
12	19	17,300	△ 11.0	8	4	160.9	4	82	△ 87.4	8	27	△ 87.9
2019.1	26	27,992	△ 11.5	25	12	△ 62.2	5	559	△ 12.1	15	63	△ 67.5
2	22	23,598	△ 1.9	7	17	4.5	3	1,046	2,888.6	19	151	121.4
3	18	18,084	△ 4.5	26	36	10,504.4	3	1,023	△ 41.5	4	4	△ 87.0
4	21	22,740	△ 6.1	45	24	—	8	1,215	715.4	33	366	△ 3.2
5	28	29,688	△ 9.4	36	19	98.7	4	123	△ 28.9	27	355	64.9
6	18	17,148	△ 7.7	18	20	1,523.1	2	341	424.6	41	256	24.8
7	27	31,083	1.9	21	38	4,754.5	1	27	△ 89.4	24	129	208.0
8	17	16,427	△ 30.8	9	61	375.5	2	70	△ 30.0	11	125	△ 15.1
9	24	27,607	67.9	3	23	124.0	5	535	3,466.7			
資料出所	徳島県銀行協会						東京商工リサーチ			徳島県信用保証協会		

(注) 保証協会代位弁済は年度。